

具体的な見直しの方法について

ロードマップ（見直しの手順）に沿って、施策ページを5つのパートに分解。パートごとに見直しを進める。
下図：総合計画の施策ページにおけるパート分け

①「現状と課題」の更新
各施策における「現状と課題」を前期計画の成果や現状分析を踏まえ更新

②「目指す姿」の再設定
「現状と課題」の更新を踏まえ、各施策における「目指す姿」を再設定

政策1 未来を創造する子どもたちのために。(子育て・教育)

施策1 妊娠期から乳幼児期の切れ目のない支援

現状と課題

○妊婦一般健康診査の補助や支援プランの作成、保健師や助産師等による妊産婦や乳幼児訪問など、母子の健康管理の充実を図っています。また、子育て家庭の不安を和らげるため、令和元年度(2019年度)に「子育て世代包括支援センター」を設置し、各家庭の状況に応じた事業の利用支援や相談支援に取り組んでいます。これに加え、核家族化や地域のつながりの希薄化などにより、子育て家庭の孤立感、負担感の増大が課題となっていることから、同センターを中心として、地域ぐるみで子育てしていく環境となるような体制づくりの強化が今後の重要なカギとなります。

○産後うつ、育児不安、育児放棄、虐待等の問題を抱える家庭に対しては、今後さらなる対策を講じていく必要があります。早期に発見し、早い段階から支援を行っていくことができるよう、各種関係機関との連携強化を図る必要があります。また妊産婦本人だけではなく、パートナーや家族の理解と協力、住環境、職場環境など、妊産婦を取り巻く環境の改善も求められます。

○結婚年齢、出産年齢の上昇や医療技術の進歩にともない、不妊治療を受ける夫婦は増加しており、不妊症に悩む夫婦の経済的負担を軽減し、子どもを産み育てやすい環境づくりが必要です。

目指す姿

いつでも気軽に相談できる場所があり、地域に見守られ、のびのびと安心して子育てすることができる。

SDGs 該当分野	
目標	目標達成に向けた取り組み
 すべての人に健康と福祉を	妊娠期から、相談支援、健診への補助、各種教室開催等の支援を行うことで、妊産婦・新生児・乳幼児の健康的な生活に寄与する。
 住み続けられるまちづくりを	家庭訪問により子育ての孤立化予防や不安を軽減することで、住み続けられるまちづくりに寄与する。
 平和と公正をすべての人に	新生児及び乳幼児の家庭への訪問・健診等を行うことで、子どもに対する虐待や暴力の予防や早期発見に寄与する。

生活の中でみんなができること	
市民ができること	・妊婦だけでなく、パートナーや他の家族も妊娠・出産・子育てに関心を持ち、自ら知識を深める。 ・健康診査の定期受診等、自分でできる健康管理を行う。 ・子育てに関するサークル・教室等に積極的に参加する。 ・妊産婦やその家族に対する理解を深め、見守り、手助けを行う。
地域団体ができること	・妊産婦および乳幼児期の親子への講座の実施や居場所づくりに取り組む。
事業者ができること	・妊娠・出産・子育てを支援する労働環境・協力体制づくりに取り組む。

施策の主な取り組み

①妊産婦の健康づくりの推進

母子の健康管理をサポートすることで、安心して妊娠・出産・育児ができるよう支援します。また、不妊・不育症に悩む家族への支援を行います。

指標名	単位	算出方法(指標説明)	現状値(R1)	目標値		
				R6	R10	R14
プレママ教室(母親教室)参加満足度	%	プレママ教室参加者アンケートで「満足度」を80%以上と回答した人数/全回答者数	98.5	100	100	100
産後4か月の時点において香芝市で今後子育てしていきたい人の割合	%	4か月児健診時のアンケート(健やか親子21奈良系統一アンケート)で「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と回答した人数/全回答者数	96.2	100	100	100

■実施する主な事業	
妊娠出産包括支援事業	妊娠・子育て・育児に関する各種相談・訪問・教室等を実施します。また、全妊婦に対して支援プランを作成し、特に支援を必要とされる方には電話支援や個別訪問等を継続して行います。

②乳幼児の健康づくりの推進

乳幼児健診、家庭訪問等を実施し、乳幼児にかかる母子の健康づくりを推進するとともに、子育て不安の解消、養育支援、病気や虐待の未然防止、早期発見に努めます。

指標名	単位	算出方法(指標説明)	現状値(R1)	目標値		
				R6	R10	R14
乳幼児健診受診率	%	各健診受診者数/4か月児健診、1歳6か月児健診、3歳6か月児健診対象者数	97.2	98.2	98.4	98.6
こんにちは赤ちゃん訪問率	%	訪問世帯数/生後4か月までの子どもがいる世帯数	86.7	100	100	100

■実施する主な事業	
乳幼児健診事業	乳幼児の節目の年齢(4か月・1歳6か月・3歳6か月)において健診を実施し、成長・発達を確認を行います。
乳幼児相談及び教室事業	乳幼児期に関する相談のほか、遊びが教室、離乳食教室、子育て交流会等を行います。
こんにちは赤ちゃん事業	生後4か月までの乳児がいるすべての家庭を助産師等が訪問します。特に支援を必要とされる母子には継続して訪問します。

- 関連する主な施策**
- 施策2 子育て支援の充実 ①子育て家庭への支援/②児童虐待防止の推進
 - 施策5 家庭・地域・学校の連携 ①地域ぐるみの子どもの支援
 - 施策7 医療提供体制の充実 ①地域医療体制の充実/②感染症対策の推進
 - 施策12 人権・多様性の尊重 ①人権啓発の推進と学習機会の提供/②男女共同参画によるまちづくりの推進

関連部門計画

■第2期香芝市子ども・子育て支援事業計画

③「主な取り組み」の再設定
「目指す姿」を実現するための「主な取り組み」を再設定

④KPI(成果指標)の再設定
各施策の「主な取り組み」に紐づくKPI指標(成果指標)を再設定

⑤事務事業の再構築
KPI指標(成果指標)を達成するために必要な活動(事務事業)体系の再構築

①「現状と課題」と②「目指す姿」の見直し

具体的な見直しの方法

「前期基本計画ふりかえりシート」に記載した内容を根拠として、①「現状と課題」の内容を見直す。
①「現状と課題」を踏まえて、必要に応じて②「目指す姿」も更新する。

★第5次香芝市総合計画前期基本計画 ふりかえりシート

政策	01	未来を創造する子どもたちのために。（子育て・教育）
施策	1	妊娠期から乳幼児期の切れ目ない支援

①「現状と課題」の更新
各施策における「現状と課題」を前期計画の成果や現状分析を踏まえ更新

順調

「施策の主な取り組み」に設定した評価指標の進捗状況			
◎	0 / 4	○	4 / 4
△	0 / 4	×	0 / 4

施策の担当所管	
保健センター・児童福祉課	

総括コメント

【施策の課題点・考察】

- ・子育て家庭の不安を和らげるため、関係機関と連携し、すべての妊婦・子育て世代が安心して出産・子育てができるよう、妊娠期から子育て期まで切れ目ない支援体制を継続的に実施する必要がある。
- ・令和4年度より不妊治療が保険適用になり、一般不妊治療費助成の申請件数は減少傾向にある。事業内容や必要性について検討していく必要がある。
- ・生後早期に家庭訪問を実施し、子育て情報を提供し、養育環境を把握する。児童虐待の未然防止と早期発見に努める。

【今後の方向性】

- ・こども家庭センターの設置により、母子保健・児童福祉の両機能の連携・協働を深め、一体的な組織として子育て家庭に対する相談支援を実施していく。妊娠期から子育て期にわたる切れ目ない支援体制の強化につなげていく。
- ・令和7年度からの不妊治療に対する県の助成を踏まえ、令和6年度中に一般不妊治療費助成事業の方向性を検討していく。
- ・専門職が訪問し、訪問の結果から支援の必要な家庭に対しサポートプランを作成していく。

②「目指す姿」の再設定
「現状と課題」の更新を踏まえ、各施策における「目指す姿」を再設定

◆評価指標の進捗状況と課題

項目名	課名	区分	当初値 (R1)		R3	R4	R5	R6	検証結果		達成度が80%未満の場合は、主な要因を記載
									達成度	評価	
プレママ教室(母親教室)参加満足度	保健センター	増加(単年)	98.5 %	目標値	100.0	100.0	100.0	100.0	97.6%	○	
				実績値	99.2	99.1	97.6	—			
産後4か月の時点において香芝市で今後子育てしていきたい人の割合	保健センター	増加(単年)	96.2 %	目標値	100.0	100.0	100.0	100.0	95.7%	○	
				実績値	95.5	95.1	95.7	—			
乳幼児健診受診率	保健センター	増加(単年)	97.7 %	目標値	98.0	99.0	99.0	98.2	99.1%	○	
				実績値	97.9	98.3	98.1	—			
こんにちは赤ちゃん訪問率	児童福祉課	増加(単年)	86.7 %	目標値	100.0	100.0	100.0	100.0	99.6%	○	
				実績値	98.1	99.1	99.6	—			

③「主な取り組み」と④「KPI（成果指標）」と⑤「事務事業」の見直し

具体的な見直しの方法

各課で事業単位で、「ロジックモデルシート」を作成する。（現状の事業数は112事業、7月～8月末で実施）
ロジックモデルを根拠として、③「主な取り組み」、④「KPI（成果指標）」、⑤「事務事業」を見直す。
*委託業者によるロジックモデル作成支援として、研修会や意見交換会、企画政策課によるヒアリングを実施。

今年度の策定作業の肝！

実施する主な事業 (アクティビティ)		活動成果 (アウトプット)	変わること/産み出されるもの (アウトカム)				めざす姿 (インパクト)		
			1次アウトカム		2次アウトカム		めざす姿と同じ内容が転記されます		
事務事業名	母子保健事業	取組が実施されたことを示す事実（直接的成果） * 取組の中で定量的に示せる事実を記載	事業実施者が直接制御できない、間接的成果と言える事象 (間接的成果) * 事業の開始後 4 年以内に変化がみられる事象が望ましい		事業開始後に期待される、市内における社会・経済・環境面での変化 (波及的効果・影響) * 事業の開始後 8 年以内に変化がみられる事象が望ましい				
【乳幼児の健康づくりの推進】 新生児聴覚検査費助成 乳幼児健診及び相談支援事業 集団教室事業 ・母子保健法に基づく乳幼児健診を実施し、疾病の早期発見、早期治療につなぐとともに、支援が必要な乳幼児には個別支援を実施する。 ・未受診者の現状を確認し虐待の疑いがある場合は、関係部署と連携する。 ・専門性を活かした個別支援や、乳幼児の年齢に応じた保護者に対する集団教室を実施することにより、保護者の不安軽減を図る。 ⑤事務事業の再構築 KPI指標（成果指標）を達成するために必要な活動（事務事業）体系の再構築		新生児聴覚検査費助成件数	成長の節目に健診を受診できる 治療を必要とする児が医療を受診できている 保護者が育児に悩んだ時に相談することができる		乳幼児が必要な支援を受けながら健やかに成長できる ③「主な取り組み」の再設定 「目指す姿」を実現するための「主な取り組み」を再設定		いつでも気軽に相談できる場所があり、地域に見守られ、のびのびと安心して子育てすることができる。		
		乳幼児健診個人通知回数							
		乳幼児健診実施回数							
		精密検査児フォローアップの実施件数							
		集団教室実施回数							
④KPI(成果指標)の再設定 各施策の「主な取り組み」に紐づくKPI指標（成果指標）を再設定		乳幼児相談実施回数	上記を測るアウトカム指標の候補		上記を測るアウトカム指標の候補				
			乳幼児健診受診率（各健診） 乳幼児健診未把握者の割合（各健診） 乳幼児健診で要精検となった児の精密検査受診率（各健診） 乳幼児相談延べ件数		児童虐待件数 乳児死亡率 3歳6か月児健診にて育てにくさを感じた時に対処できる親の割合 3歳6か月児健診時点において不適切養育をしている親の割合				
		設定指標	値	設定指標 (上記候補から測定可能な指標を抜粋)	値	設定指標 (上記候補から測定可能な指標を抜粋)		値	
		現状値（R5）	乳幼児健診実施回数（4か月児、1歳6ヶ月児、3歳6ヶ月児合計） 集団教室実施回数 乳幼児健診精密検査未受診者への対応実施率	72回 81回 100%	3歳6か月児健診受診率 3歳6か月児健診未把握者の割合 乳幼児健診で要精検となった児の精密検査受診率 乳幼児相談延べ件数	97.8% 0% 60.7% 504件		3歳6か月児健診にて育てにくさを感じた時に対処できる親の割合 3歳6か月児健診時点において不適切養育をしている親の割合	85.8% 27.0%
		目標値（R10）	乳幼児健診実施回数（4か月児、1歳6ヶ月児、3歳6ヶ月児合計） 集団教室実施回数 乳幼児健診精密検査未受診者への対応実施率		乳幼児健診受診率 乳幼児健診未把握者の割合 乳幼児健診で要精検となった児の精密検査受診率 乳幼児相談延べ件数				
目標値（R14）	乳幼児健診実施回数（4か月児、1歳6ヶ月児、3歳6ヶ月児合計） 集団教室実施回数 乳幼児健診精密検査未受診者への対応実施率		乳幼児健診受診率 乳幼児健診未把握者の割合 乳幼児健診で要精検となった児の精密検査受診率 乳幼児相談延べ件数		3歳6か月児健診にて育てにくさを感じた時に対処できる親の割合 3歳6か月児健診時点において不適切養育をしている親の割合				

見直しの結果のまとめ方

具体的な見直しの方法

最終的には全施策（３３）の見直し内容をそれぞれ１シートとしてまとめ、改定のためのカルテとして役立てる。また、見直しのポイントや根拠を「見える化」し、市民に分かりやすく公表することで、透明性・公平性を担保する。

(イメージ)

★中期計画 改定プランシート

政策		
施策		

R5行政評価における 担当課の進捗評価									
「施策の主な取組」組みに設定した 評価指標の進捗状況	<table><tr><td>◎</td><td>/</td><td>○</td><td>/</td></tr><tr><td>△</td><td>/</td><td>×</td><td>/</td></tr></table>	◎	/	○	/	△	/	×	/
◎	/	○	/						
△	/	×	/						
施策の担当部署									

総括 コメント	【施策の課題・考察】 ・ ・ ・
	【今後の方向性】 ・ ・ ・

前期基本計画における評価指標（所管設定）

項目名	課名	区分	当初値 (R1)		R3	R4	R5	R6	検証結果		達成度が80%未満の場合は、主な要因を記載
									達成度	評価	
				目標値							
				実績値							
				目標値							
				実績値							
				目標値							
				実績値							
				目標値							
				実績値							
				目標値							
				実績値							
				目標値							
				実績値							

◆評価指標の進捗状況と課題（令和6年2月26日時点） ※R5実績値が未確定のもの、計測不能なものについては、現時点では除外。

客観的等統計データ（オープンデータ）

項目名	単位	位置付け（順位）				引用元	備 考
①							
②							
③							
④							

中期基本計画 改定プランシート

前期計画の
効果検証

中期基本計画
に向けた検証・分析

市民アンケート結果（市民意識調査・中学生アンケート）

◆市民から見た施策の満足度と重要度（市民アンケートより）

	平成27年	令和元年	令和6年（令和27年） ※令和6年～令和27年 の予測値	経年 変化率 （%）	スコア値 最大2（最小-2）	スコア値 最大3（最小-3）	スコア分類 （最大3、最小-3）	タイプ	タイプ の方向性	重点的改善 の必要性
満足度	35.6%	39.7%	4.1%							
重要度	71.6%	74.8%	3.2%							

◆優先度（市民アンケートより）

優先的に力を入れるべき （最大3（最小-3））	13位	特に四捨五入を要しない （最大3（最小-3））	35位

アンケート結果

検討過程での意見（本部会議・都市経営市民会議）

本部会議・
都市経営市民会議での意見など

施策の改正の方向性

今後の方向性

旧指標 → 新指標

旧事務事業 → 新事務事業

中期基本計画
における改正内容